

デーリー東北
2019年(令和元年)5月13日(月曜日) (17)

地域活性化どう取り組む



地域活性化について意見を出し合う学生

八工大1年生、市内巡り意見

八戸

八戸工業大の工学部電気電子工学科の1年生ら約30人が9、10日、世増ダムなど八戸市内各地を巡り、地域の魅力や活性化への理解を深めた。同大では毎年5月に新入生の交流や施設見学のため、1泊2日でオリエンテーションを行っている。

9日は八戸シーガルビューホテルで、八戸市のNPO法人ACTYの町田直子理事長が、種差海岸などで取り組ん

でいる活動を紹介。町田さんは「八戸には大自然やおいしい食べ物がある。まずは自分が楽しいと思えることが大事」と強調した。

その後、学生は5班に分かれ、地域活性化のためにできることについて意見を出し合った。青森市出身の秋元李孔さん(18)は「服屋をもっと増やしたり、バスの利便性が向上したりしたら、住民や観光客も楽しめると思う」と話していた。

(稲村安利)